

樹 木 診 断 書

【那珂川町立小川中学校のプラタナス】

平成 30 年 1月 18日

一般社団法人栃木県樹木医会

樹木診断書

一般社団法人栃木県樹木医会

調 査 日	2018 年 1 月 16 日	天候	晴れ	調査者 (樹木医)	若林喜久治、淵脇智博		
所 有 者	那珂川町立小川中学校	所在地	栃木県那須郡那珂川町小川3033				
樹 種 名	プラタナス(すずかけ)東側	胸高直径	0.84	m	樹 齢	100	年 (推定)
樹 種 名	プラタナス(すずかけ)西側	胸高直径	0.80	m	樹 齢	100	年 (推定)
樹 高	14	m	枝張り	E 2 m ・ W 4 m ・ S 4 m ・ N 3 m			
樹 高	12	m	枝張り	E 4 m ・ W 4 m ・ S 4 m ・ N 4 m			
備 考	中学校敷地内のプラタナス(2本)の倒伏診断						
周辺環境の 状 況	校庭とテニスコートが隣接している 陽当りは良好 地面は踏圧の影響で硬い						
根 系・根 元 土 壌 の 状 況	3m程度の円形の植栽スペースが存在する 植栽枡以外は校庭とテニスコートになっており踏圧の影響が大きい 2本とも根株腐朽が見られ1mの鋼棒がすべて貫入する 根元の支持根に枯死部がみられる						
大 枝・幹 の 状 況	長年の剪定により太枝が切り詰められ切口付近から新しい枝が再生した状態 西側木には幹に大きな開口腐朽がみられる 東側の木は上部半分が枯死している						
樹冠・枝葉 状 況	強剪定後に出た細い枝が密集した状態で伸びている 冬季のため落葉している						
そ の 他	東側の木は徐々に傾いていると立ち会った先生が話ておられた						
考 察	東側の木は根元腐朽がみられ、幹の半分が枯死状態であるので樹勢の回復は望めない 西側の木は外見上は正常そうに見られるが幹腐朽と根株腐朽が存在する 2本とも幹に空洞が存在し樹勢の回復は望めない 特に東側の木は痛みが酷い						
対処方法	東側の木は上記の理由から至急の伐採が妥当と判断する 西側の木は倒伏対策としてワイヤーロープの設置も考えられるが、 使用出来なくなる難点がある 生徒への安全を優先すれば2本とも伐採するのが、妥当と判断される 特に東側の木は至急に対処する必要がある						

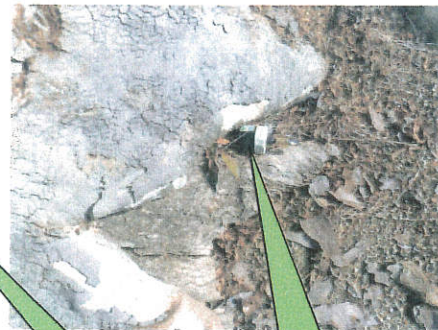
全 景



西側の木

東側の木

部 分 写 真



鋼棒(約1m)

根元に全て貫入



西側の木の開口腐朽



【 参考 】
2本とも樹皮で生きている状態
写真の開口部を樹皮で覆った
状態と考えてください